

別紙2  
目標達成計画

事業所名 グループホームのぞみ

作成日：平成 29年 1月 30日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなるよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	54	居室に個性が感じられず、同じような装飾になってしまっている。	入居者本人とも相談し、家族の協力も得ながら、ご本人にとって居心地の良い場所にした。	家族に依頼して、なじみの物を持ってきてもらうのを待つだけでなく、ご本人と話し合い、ベッドやタンスの位置などを考えたり、ご本人と一緒に置物を買うなど、ご本人の趣味、嗜好を重視した環境作りを行う。	3ヶ月
2	26	朝の申し送りで話し合った内容や気づきを書式に残せていない為、介護計画への反映が直ぐに出来ていない。	統一したケアを目指す為にも、気づきや申し送り事が記載しやすい書式を検討し、介護計画への反映がしやすいようにしたい。	書式の検討の前に、朝の申し送りで出たアイデアや気づきを、ケース記録等に残せるようにしたうえで、介護計画の見直しがしやすい書式も検討していく。	3ヶ月
3	35	非常口に階段があり、避難時の際には転倒転落の危険性が高い。	階段を解消して、スロープにして、安全に避難出来る様にした。	上司と相談したうえで、スロープの作成を対応していく。時間がかかる様であれば、階段を危険なく移動できる手段の検討をして、有事の際には怪我の内容避難誘導が出来る様にする。	6ヶ月
4					6ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。